



←北仲通南地区（従前）

↓ 曳家の様子



北仲通南地区（第 1 工区）／横浜市中区

当地区は、関内地区とMM 21 地区との結節点に位置しています。かつては、中小の業務ビルや駐車場などの低未利用地が地区を占め、立地にふさわしい土地利用がなされていない状況でした。

既存都心地区とMM 21 地区の連担および都市計画道路「栄本町線」の整備を目指し、平成元年、神奈川県と横浜市から当機構（当時の住宅・都市整備公団）に、当地区における市街地再開発事業の施行要請（約 3.0ha）がなされました。第 1 工区建物は平成 15 年に竣工、低層部は、栄本町線の計画地上にあった旧横浜銀行本店別館（元第一銀行横浜支店）のバルコニー部分を曳家*工事で復元し、新旧横浜が融合した顔づくりがなされています。また、平成 16 年にみなとみらい線「馬車道」駅の開業と栄本町線の全面開通が実現し、横浜都心部の再編に重要な役割を果たしています。

*建物や橋、重量物などをそのままの状態に移動する建築工法

タイムトリップ

第 1 工区建物
（横浜アイランドタワー（夜景））
階数：地下 2 階地上 27 階
延床面積：約 44,000 m²

北仲通南地区（従後）

